




看護者・介護者のための
みるみるわかる!



口腔カンジグ症

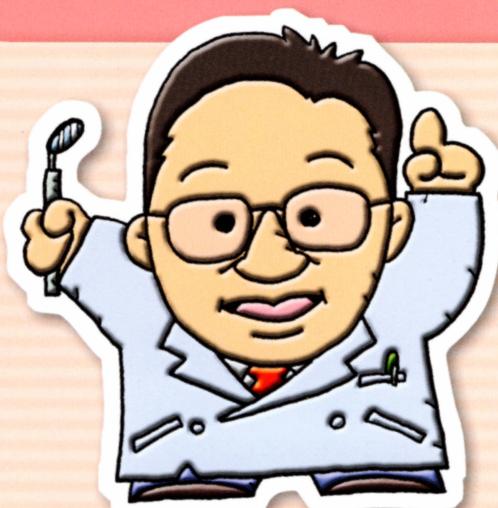


監修

大生病院歯科・口腔外科科長

阪口英夫

イラスト
はら ひろし。



口腔カンジダ症って なんですか？

口腔カンジダ症とは

口腔カンジダ症は口腔内に常在するカンジダ菌という真菌が異常繁殖して起こる病気です。粘膜に白苔※や紅斑を起こします。自覚症状はヒリヒリしたり、味が変わったりしますが、自覚症状が出ないことも多いので見落とされやすい病気です。

放置すると誤嚥ごえん(P4参照)や血中移行を通して内臓真菌症などへの重篤な病気の入り口となります。



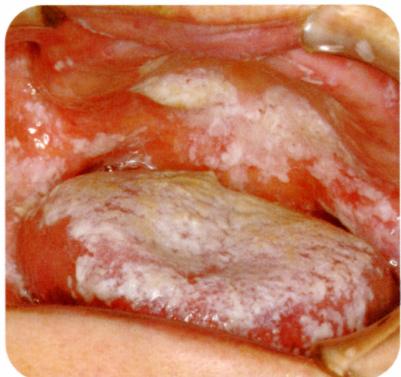
※カンジダによる白苔とは

灰白色あるいは乳白色の点状、線状、帯状、板状など種々の苔状の偽膜で、異常に繁殖したカンジダ菌の塊です。舌や頬、歯肉、咽頭あるいは口蓋の粘膜にできます。

偽膜性口腔カンジダ症

剥がれやすい白苔の形成が特徴としてみられます。

体力の低下した患者さんや免疫不全の患者さんなどに多くみられます。



肥厚性口腔カンジダ症

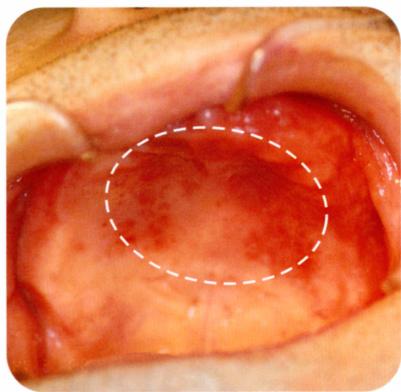
偽膜性口腔カンジダ症が長期間に渡って進行した口腔カンジダ症です。偽膜の下に角化（粘膜が白く厚くなること）した粘膜がみられ、その中にカンジダ菌が増殖しています。



紅斑性口腔カンジダ症 (義歯性カンジダ症)

義歯（入れ歯）を装着した方に多くみられます。義歯の清掃が悪かったり、義歯洗浄剤を使っていないなどの原因で、全身の状態とは関係なくおこります。

明らかに赤くなった粘膜が特徴で、粘膜面に刺激の強い食べ物が触れるヒリヒリと痛みを感じます。



どんな患者さんが 口腔カンジダ症に なりやすいの？

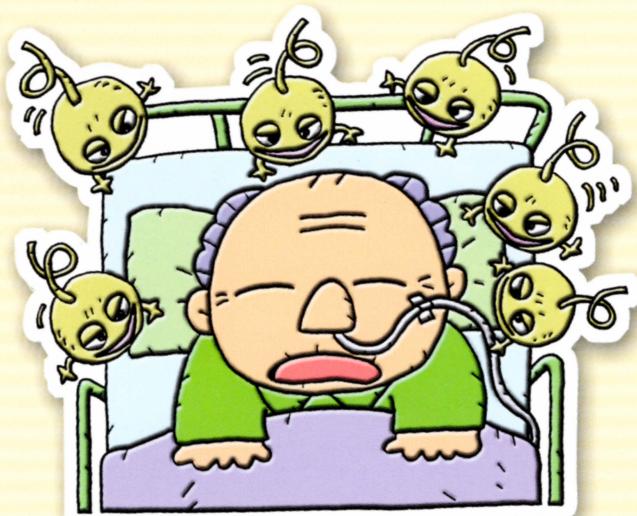
口腔カンジダ症は、以前は白血病やHIVなどの特別な病気を持つ人だけがかかる病気であるという認識が一般的でした。

しかし、高齢化や医学の進歩により、特別な病気でなくても体力低下がみられる場合や高齢者に口腔カンジダ症が増加しているといわれています。特に脳卒中に罹患し、寝たきりのお年寄りなどでは高頻度でカンジダ菌の検出がされるという報告¹⁾もあります。

寝たきりのお年寄りで、食事の経口摂取がされていない場合や口腔ケアが充分されていない場合は、口腔カンジダ発症の危険が高まるといえるでしょう。

1) 永長周一郎, 品川隆, 阪口英夫, 植木輝一, 角 保徳 :

高齢脳卒中患者における口腔微生物叢に関する研究 -カンジダ菌を中心として-,
老年歯科医学, 16(1): 14-21, 2001



義歯を入れている人には注意！

口腔カンジダ症は義歯を入れている人に多くみられます。特に紅斑性口腔カンジダ症は義歯の床縁(ふち)に一致して粘膜の紅斑ができますので、口腔カンジダ症があるかどうかは、義歯を外してみないと分かりません。



口角炎も口腔カンジダの一種です

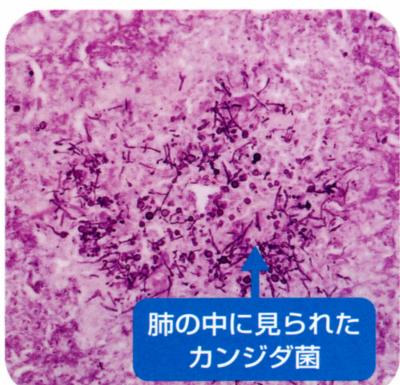
口唇の角が切れてしまう口角炎も口腔カンジダ症で起こることがあります。治りにくい口角炎や口腔カンジダ症がある患者さんでは注意が必要です。



口腔カンジダ症とカンジダ性肺炎

近年注目されているのは、肺真菌症と口腔カンジダ症の関係です。奥羽大学の清浦先生の研究では、口腔カンジダ症に罹患させたマウスの肺を調べたところ、高率にカンジダ菌が検出されました。

清浦先生は「誤嚥※によるカンジダ菌の肺への移行が考えられる。誤嚥の可能性がある高齢者では、口腔カンジダ症に注意が必要。」と警告されています。



肺の中に見られた
カンジダ菌

清浦有祐、阿部行洋：*Candida albicans*による実験的嚥下性肺炎のマウスモデルの開発
第9回 Woci 総会・学術大会 2006. 10

ごえん ごえんげ

※誤嚥(誤嚥下)とは、食べ物や唾液などが誤って気道に侵入してしまうことをいいます。食事中などに「むせ」など特有の症状を伴うものを『顕性誤嚥』といい、伴わないものを『不顕性誤嚥(silent-aspiration)』と呼んでいます。不顕性誤嚥は誤嚥の事実に気付かないことが多く、その上、咳反射や免疫能が低下した要介護高齢者では誤嚥による細菌感染が成立しやすいため、注意が必要です。

口腔カンジダ症を防ぐ 口腔ケアは？

口腔カンジダ症は抵抗力や体力が低下した場合にかかりやすい病気ですので、そのような患者さんでは特に口腔ケアに対する注意が必要です。

また、口腔カンジダ症は唾液分泌が低下した口腔乾燥（ドライマウス）を持つ人にも多く見られます。そのため、唾液分泌を促す口腔ケアや、口腔を湿った状態に保つケア（保湿）が必要になります。

唾液分泌を促すためには、レモン水を使った口腔清拭や唾液腺マッサージが有効です。口腔の保湿には、市販の口腔内保湿ジェルなどを利用します。



歯ブラシでのブラッシング



レモン水、スポンジブラシ
を使った口腔清拭



口腔内保湿ジェル
などによる保湿



唾液腺マッサージ

義歯を使っている人は

義歯を使用している人は、食後の義歯清掃を必ず行って下さい。義歯はブラシなどで清掃した後、義歯洗浄剤に漬けるようにします。義歯洗浄剤は最低でも3日に1回は使いましょう。

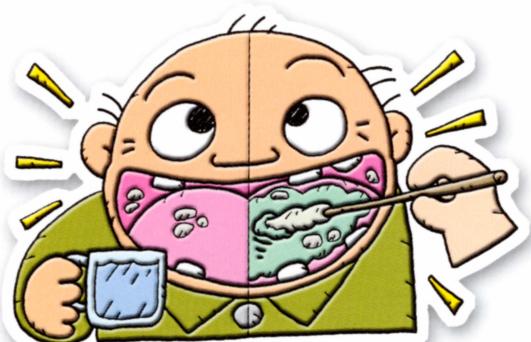


それでも口腔カンジダ症を見つけたら

口腔カンジダ症は軽いものであれば適切な口腔ケアで改善しますが、さらに進行したものではお薬を使用しないと治癒しません。

口腔カンジダ症を見つけたら、必ずお医者さんか歯医者さんの診断を受けてください。

お薬が処方されたら、用法・用量を守って最後までしっかりとお薬を使うことが大切です。口腔カンジダ症はかかりやすい体質を改善できない場合、再発することが多く、再発を繰り返すと難治性の口腔カンジダ症になるだけでなく、内臓真菌症の危険性も高まります。



口腔カンジダ症と間違えやすい病気

へんぺいたいせん

扁平苔癬

口腔粘膜にできる粘膜病変で、白苔に似た病変であるために口腔カンジダ症と間違えやすい病気です。白苔が容易に剥がれないことが口腔カンジダ症との違いです。



はくばんしょう

白板症

粘膜が異常角化して起こる病気で、白苔を形成するため口腔カンジダ症と間違えやすい病気です。口腔カンジダ症に比べて白苔が剥がれにくいことが特徴の病気です。



はくりせい しにく こうないえん

剥離性歯肉口内炎

歯肉の表面が剥離してしまう病気で、表面が白く変化した場合には口腔カンジダ症と間違えやすい病気です。口腔を不潔にしていても起きる病気です。



病・医院名